



子どもたちと大人の未来

読者の皆様は普段パソコンをお使いでしょうか。

私の勤務する鏡野中学校の生徒は毎日のようにパソコンを使って授業を受けています。

県下の小・中学生に一人一台端末が支給されてから早3年。「GIGAスクール構想」が進んでいます。GIGAスクール構想とは、「児童生徒向けの一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」です。(GIGA = Global and Innovation Gateway for All)

また、学校の授業だけでなく、パソコンを家庭に持ち帰り、自宅等での学習に活用することもすすめられています。家庭学習の質を充実させる観点や、臨時休業等の非常時における学びの継続を円滑に行う観点からも有効であるとの考えから、持ち帰り課題を与えられ、家庭での利用も一気に進みました。

このような流れを受けて、今年度から鏡野町の小・中学校の教員で組織する鏡野町教育研究部会に、従来からの教科部会に加え、情報部会が新設され、小中の先生で力を合わせて日々研究を深めています。

生徒が生きていく未来 (Society5.0 内閣府) ではサイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を

高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会 (Society) が展開されると予見されています。都会とのギャップを感じることもなく、すべての人が平等に情報活用し、健やかに生活できるように生徒を育てていくことが我々大人に求められているのです。

情報にあふれた予測不能な未来を生き抜くためには見通しが持てないことがたくさんあります。そんなときこそ家庭や地域の大人の出番です。大人には子どもたちにはない人生経験があります。悩み、戸惑っている子どもたちに寄り添い、話を聞いてこれからの希望を与えることが大人にしかできないことではないでしょうか。

生身の人間同士でしか味わえない感動も復活してきています。先日の鏡野中学校吹奏楽部定期演奏会では、保護者をはじめ、地域の方や興味をもってくださった方などで講堂が満席になりました。その中で演奏することができたことで部員はとても感動し、感謝のさもちを共有することができました。

夏のボランティアや地域の祭りなど、子どもたちが地域で活躍する場面も復活してきました。地域のなかの宝である子どもたちと接するとき、ぜひ未来の話をしてみてください。大人にとっても刺激的なことがきっとたくさんあるはずです。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鏡野中学校 水嶋 竜也

のびのびひろば

わっしょい!秋の実りの秋まつり♪

「わっしょい!わっしょい!」芳野こども園に、子どもたちの元気な掛け声が響きました。10月27日の芳野こども園秋祭りでは、保護者の方に見守られながら、自分たちで作ったおみこしを担いだり、お店屋さんごっこをしたりとにぎやかで楽しい1日となりました。また、11月1日には園周辺を練り歩き、地域の方にも見ていただきました。地域のお祭りに参加した経験を活かし、太鼓のリズムに合わせて、とても上手に獅子舞を披露してくれた子どもたちでした。そして、秋といえば食欲の秋!収穫に感謝しながら子どもたちが育てたもち米やサツマイモを使って、クッキング♪秋の味覚たっぷりの芳野なべやつきたてのおもちをお腹いっぱい食べて、秋を満喫しました。



そ~やれ♪

お店屋さんごっこ



いらっしゃいませ~

お餅・鍋作り



自分で作って、楽しかった!

おいしい♪

(芳野こども園)



おみこし



健康でいられますように☆

年長児による獅子舞



神社参拜